

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月1日

事業所名 放ディ エスタスカーサ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		令和3年度より、経験豊富な児童指導員をさらに2名増員。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子利用の児童がいるため、駐車場からテラスまでスロープ、室内入口は段差をなくしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、改善に努める。会議にて職員全員で情報共有、計画案等を検討している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		コロナ禍で外部の人を施設内に入れるのが難しい状況にあった。今後は感染状況に合わせて検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		支援の研修の他、接遇マナーやコミュニケーションスキルアップの研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		個人記録を通じてスタッフ間で情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		支援会議にてスタッフの意見を取り入れ、見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生と連携し、確認することを徹底している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現状医療的、ケアが必要な児童はいない。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達センターに引継ぎ、児童の様子を見せていただくようにし、支援方法等をご指導いただく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		担当者会議に出席し、障害福祉サービス事業所へ引継ぎを行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近隣の小学校のグラウンドで小学校児童と一緒に遊ぶ機会を作っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		発達支援の先生を招いて、児童に関わる他事業所スタッフや保護者に対して支援方法やアドバイスをいただくなど、勉強会を開催。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から相談があったときは、個別に随時面談や電話で助言、支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	例年は、収穫祭や餅つき、フラワーアレンジメント教室イベントを開催し、保護者同士の連携を支援する機会を設けているが、コロナ禍のためできなかった。今後の状況に応じ、開催していきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		フラワーアレンジメント教室や餅つきなど、地域に根付いた活動を行っている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		活動の中に避難訓練を入れ、児童と一緒にやっている。	日々避難場所への散歩をすることで、児童の不安を煽らないような配慮をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現状身体拘束はしていない。今後必要な時に備えて、検討することとしたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者に確認し、アレルギーのある児童の場合はおやつ、食事内容を考慮して対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			